



旧津山扇形機関車庫 懐かしの鉄道展示室 ゴールデンウィーク 連日大盛況 5月1～5日 JR津山駅

県内はもとより、関西や中四国などから多くの鉄道ファンや親子連れなどが集まる盛況ぶりでした。今年から展示車両も2台(キハ52-115・キハ33-1001)増え、6台の車両が展示された機関車庫では転車台の運転も実演され、見学者は往時の姿を思い浮かべているようでした。

広島県から親子で参加した藤原浩太くん(6歳)は「機関車がかっこよかった。大きくなったら、在来線の運転手になりたい」と目を輝かせながら語ってくれました。



横野滝 滝開き 厳かに期間中の安全を願う 4月29日 横野滝(上横野)

今年も、横野滝の竜王神の祭礼に合わせて滝開きが行われました。二の滝前で行われた神事は、地元住民と関係者が期間中の安全と観光振興を祈願するもので、観光シーズンが幕を開けました。

訪れた観光客は、ひんやりとした山の空気が流れる中、流れ落ちる滝のしぶきや水音に静かに聞き入ったり、冷たい滝の水に手を触れてみたりと、思い思いに楽しんでいました。名物のそうめん流しも始まり、早速家族連れなどでにぎわっていました。



第39回 阿波ふるさとまつり 新緑の山里でふるさとを感じる 5月16日 阿波ふるさとふれあい会館ほか

『にほんの里100選』の阿波に今年も大勢の人が詰め掛け、にぎわいました。

メイン会場では、和太鼓の勇壮な演舞を皮切りに、バンド演奏やバルーンアートなど多彩な催し物と、山ウドやワラビ、ギボウシといった旬の山菜やニジマスの塩焼き、山菜おこわなどの販売が大盛況。また、第2会場の阿波森林公園ではニジマスのつかみ取りを開催。小学生や幼児が「あそこにおる」「ヌルっとしとる」「捕まえれん」などと歓声を上げながら魚を追い掛け、山里での初夏の一日を存分に楽しんでいました。

楽しく読もう! 親子音読大会 感情豊かに息を合わせて 5月9日 市立図書館

「つやまっ子読書プラン」の一環として開催された親子音読大会。課題図書の中から好きな場面を選び、音読を競いました。

聞いている相手に語りかけるように読む親子や、絵本の世界に入り込み、まるで登場人物になったように読む親子などさまざま。読書に親しみながら親子の絆を深める良い機会になったようです。

優秀者は、松山日奈子さん(北小2年)・加奈子さん親子、高矢伶皇斗さん(阿波小5年)・美諭紀さん親子、石井彩乃香さん(弥生小4年)・香里さん親子でした。おめでとうございます。



道の駅「久米の里」創業10周年記念 仙人まつり 新企画の登場におなかも大満足 4月25日 道の駅「久米の里」



平成12年5月に道の駅「久米の里」オープンとともに始まった仙人まつり。早いもので10周年を迎えました。

これを記念して新企画も目白押し。「鉄板グルメの街・津山」と題して鉄板屋台村が開設され、津山ホルモンうどんなどを販売し好評を得ていました。

「第1回ホルモンうどん大食い大会」では、5分間でどれだけ食べられるかを競いました。出場者6人のうち、見事3杯と3分の2をたいらげ、初代チャンピオンに輝いた大田信孝さん(里公文)は「1杯目からきつかったけど、チャンピオンになれてよかったです。もうおなかいっぱい」と、満足した様子でした。



清眼寺 ぼたん祭り 咲き誇る大輪にうっとり 4月27日～5月5日 清眼寺(院庄)

「牡丹寺」として知られる清眼寺で惜春の風物詩として定着した「ぼたん祭り」。白やピンク、濃赤といった花のほか、珍しい黄色の花「ハイヌーン」もあり、300株を超える花が咲き誇る境内は、花言葉のとおり「壮麗」で「富貴」な雰囲気。会場では、甘茶とお菓子の接待もあり、ゆっくりとした時間が流れていました。

また、3日にはオカリナやベトナム琴の演奏会も催され、艶やかなボタンを前に、訪れた人は清らかな調べに聴き入っていました。



第54回 津山山野草愛好会 春の展示会 素朴な美しさに魅せられて 4月24・25日 津山文化センター

山野草の愛好家が、丹精こめて育てた作品を発表する「春の展示会」。

1鉢に可憐な花を咲かせたトリアシスミレや、大きな鉢にいくつもの山野草を寄せ植えし、野山を表現した作品などが数多く展示されました。

来場者はしばし立ち止まりながら熱心に鑑賞。身近なもの、貴重なもの種類はさまざまですが、どれも愛しく絶やしてはいけないものばかりですね。